

**三田市地域公共交通網形成計画（案）に対する意見募集の結果と
市の考え方について**

1. 実施概要及び結果

- (1) 実施期間：1月15日（火）から2月14日（木）到着分
- (2) 閲覧方法：市ホームページ、市役所・各市民センターで閲覧
- (3) 意見の提出方法：住所、氏名、電話番号を記入し、持参、郵送、ファクス、eメールのいずれかで提出。※任意様式
- (4) 意見件数：12件（6名）

2. 意見の概要と市の考え方

- (1) 網形成計画（案）を修正するもの 0件
- (2) 提案として今後の取り組みの参考とするもの 12件

No.	意見	市の考え方
1	<p>今のところ、買い物や通院など外出する際は車に乗っており、生活に車は欠かせませんが、近い将来、車を運転できなくなると思うと大変心配です。</p> <p>また、付近を走るバスを見ると、日中はほとんど誰も乗っていません。このままでは、近い将来、自分たちが必要となった時にバスがなくなるのではないかと心配しています。</p> <p>将来、車の運転ができなくなっても安心して暮らすことができるまちにしていきたいと思えます。</p>	<p>ご指摘の通り車を気軽に利用できなくても安心して暮らす地域づくりが本計画の大きな目標となります。既存の路線バスを含め様々な交通手段を組み合わせた新たな地域公共交通の枠組みについて地域の皆様や交通事業者と共に考える場づくりと、地域での検討を行政が継続的にサポートするしくみづくりなど、地域での取り組みの支援に努めてまいりますので、積極的な参画やご提言をお願いいたします。</p>
2	<p>市内を走るバスは、出発・到着は駅が中心となっており、買い物や病院に行くのに、一旦は駅まで行く必要がある。駅以外にも乗り換える場所があれば助かります。</p> <p>また、高齢者にとって、乗り換えは大変なので、大型店や市民病院へ乗り換えずに行ける直行便を設けていただければ助かります。</p>	<p>日常の暮らしに寄り添う公共交通ネットワークの形成にむけ、各地域の中心となる生活交通拠点を設定し、そこから主要な施設や広域交通拠点まで、可能な限り1回の乗り換えで移動することができるネットワークの構築や高齢の皆さんの昼間需要に応じたバス交通の再編に交通事業者や地域の皆様とともに取り組んでまいります。</p>

3	<p>本庄地区では交通手段の確保は地域住民の切実な課題であり、実現にむけて真摯に取り組んで推進してほしいです。</p> <p>その中で、三田市が財政健全化を進めるなか、事業化にあたって最大の課題は投資です。確保できるのか概枠の予算案を示してください。</p>	<p>本計画を基礎として地域の皆様や交通事業者と課題を共有しながら、誰もが住みやすい住み続けたいまちの実現のために持続可能な交通ネットワーク創りを推進します。</p> <p>計画初年度となる H31 年度につきましては、公共交通の機能強化や、地域活動と連携した新たな地域内交通の導入に向けた支援を重点的に取り組む方針で予算案を上程しています。</p> <p>今後も計画に示す重点事業に基づき、限られた財源でも効果がでるよう、地域の皆様と議論を深めながら知恵と力を出し合いながら進めてまいります。</p>
4	<p>福祉施設関係者を含め地域あげて高齢者の生活支援活動の一環として送迎支援に取り組んでいます。今後、既存の活動とどのような協調体制を模索するのでしょうか。また、バスの各停留所までの送迎問題として小野地区の社会実験の成果についても知りたいところです。</p>	<p>地域で実績を重ねられた支援活動は、生活支援として定着していると認識しております。今後は、国の考え方なども注視しつつ、持続性や安定性などを視野に入れながら、既存の地域活動も含め、それぞれの地域の特性を踏まえた支援に努めてまいります。</p> <p>小野地区の社会実証実験の成果等については、平成 30 年度の結果がまとめ次第広く市民の皆様に情報提供いたします。</p>
5	<p>国土交通省の高齢者の移動手段の確保に関する検討会中間取りまとめ(案)においても、法令の緩和や「福祉」と「交通」が連帯したサービスを盛り込んでいました。地域における生活支援活動の継続性については、人材の確保・役員の後継者・管理事務及び会計処理等、各役員負担が大きすぎて難渋している現実があります。支援体制が取れないか、協働体制の是非についてもご高察を頂きたい思いがあります。</p>	<p>高齢者の移動問題については、ご指摘の通り交通と福祉の融合を視野に入れる必要があると考えております。また地域の実情に応じた地域交通ネットワークの構築にあたっては、将来も維持し続けることが大きな課題と認識しております。関係部署との連携をさらに強化するとともに、行政と地域、交通事業者が互いに役割分担しながら、地域内で自律的な運営が実現するよう実情に応じた支援策の検討を進めてまいります。</p>
6	<p>広野地区内のルートは、ワークショップ時のルートでほぼ住人のニーズを満たせると思います。ただし、このネットワークは既存の地域生活支援ボランティアとの併用が原則と考え、定時定路線とオンデマンド路線の2種類の運行に大別されると考えます。実施手法については、「買い物」と「通院」をキーワードに、大規模な老健施設やデイサービス、塾など地域内の施設との連携やタクシー配車アプリなどの活用も検討していくとともに、将来の自動運転コミバスも視野に入れていくことが必要です。</p>	<p>昨年度のワークショップで描かれた未来像をひとつの案として、今後、地域の皆様や交通事業者等とともに実情に応じた地域内交通のあり方を議論してまいりたいと考えております。ご提案のとおり、地域内の施設や新たな技術等も積極的に研究・活用しながら、より効率的、効果的で将来も維持できるしくみを皆様とともに創りあげていきます。</p>

7	<p>関西学院バスターミナル直行のバスを関西学院前に停車するように。現在は住民無視の運行状態です。</p>	<p>基本方針にもあるように、地域特性に応じた日常の暮らしに寄り添う公共交通ネットワークの形成にむけ、ライフスタイルや移動目的など、昼間需要に応じたバス路線や運行時間の再編等に取り組みます。ご指摘の事案については、通学輸送への対応と地域の生活輸送とのバランスが求められます。情報を共有しながら交通事業者や学校、地域の皆様とともに改善策の検討を進めます。</p>
8	<p>市役所、郷の音ホール、総合福祉保健センター、警察署、商工会議所など、公的機関への交通が不便で特に高齢者は行動できない。主要な交通ターミナルを繋ぐ「新三田」-「三田」の巡回バスを特に昼間の時間帯で計画してほしい。小型市営バスでもよい。勿論「市民病院経由」でもよい。</p>	<p>基本方針にもあるように、地域特性に応じた日常の暮らしに寄り添う公共交通ネットワークの形成やライフスタイルや移動目的など昼間需要に応じた公共交通の在り方を交通事業者や事業者、地域の皆様とともに検討してまいります。</p>
9	<p>自家用車を利用できない高齢者の外出(通院、買い物)のために昼の時間帯のバスの運行を増やしてほしいです。中小型バスでもよいです。</p>	<p>なお車両の小型化は、担い手の確保や運用効率の面で一概にコストが抑えられるとは限りませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
10	<p>学園のバスは新三田行き三ノ宮行き共に基本的に 30 分に1本なので朝は特に混雑もあり乗り換えが大変です。 7時52分後は3分ごとに便がありますが、それより前の時間にもっと増やすことはできないのでしょうか。また、土日祝日のダイヤで終バスが22時1分というのはあまりにも早すぎます。学園地区の利用者が少ないのも理解していますが、ゆりのき台で終わるバスの一本でもカルチャータウンまで伸ばしていただけると本当にありがたいです。終バスに乗れなかった際には仕方なくゆりのき台で降りて歩いて帰ります。しかし沢谷大橋周辺は街灯も少なく、過去に交通事故も起こったこともありいつも危なく感じます。学生の通学路であることから街灯だけでも増えると安全になると思います。 以上のことからウッディタウン中央駅からテクノパーク行きのバスをカルチャータウンまで伸ばすことと便を増やすことを希望します。</p>	<p>地域特性に応じた日常の暮らしに寄り添うこれからの公共交通ネットワークの形成には、ライフスタイルや移動目的など、需要に応じた路線や運行の再編等とともに持続可能性の確保も課題となります。</p> <p>地域、利用者の皆様のニーズを踏まえることの積み重ねが、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの第一歩と考えますので、いただいたご意見は交通事業者と共有させていただきます。</p>

11	<p>時間をかけてしっかりと計画が、密に作られているように思いますが、求めているのは素晴らしい計画ではなく実際の施策(改善策)です。また重要な観点として是非お願いしたいのは、課題解決に向けてのスピードです。</p> <p>手を打てることは、どんどん進めていただきたい。</p> <p>テクノパークの各企業の置かれている状況により、全体が満足できることは1つの施策ではないです。</p> <p>さまざまな観点から、いろんなアプローチをスピーディにお願いします。</p>	<p>基本方針にもあるように、交通分野だけで解決を図るのではなくテクノパーク企業協議会をはじめ、他分野との連携を強化し、公共交通サービスの向上と自家用車からの転換にむけた施策を「みんなで考えつなげていく体制づくり」のもと進めてまいります。</p> <p>推進にあたりましては、企業を含め、市民、行政、交通事業者の役割を明確化し、それぞれが連携しながら同じ目標にむかって取り組める体制づくりを行い、スピード感をもって施策を実施してまいります。</p>
12	<p>企業も言いたいことだけ言って、あとは行政にお任せでは、どんなこともうまくいきません。</p> <p>早い段階で、互いに協力していく体制づくりをして進んではどうでしょうか(施策を打つ側と意見いう側ではなく、同じサイドで一緒にやっていくイメージ)。テクノパーク企業協議会や前向きな企業をうまく引き込んで進めていくことがいいかと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、各企業や団体等にもご協力をいただきながら、互いに自分ごととして、目標の共有と目標達成にむけ同じ目線で議論しあえる体制を早期につくり取り組んでまいります。</p>